

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田収 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷局

水上スキー体験記

去る7月25日(日)、9時から18時までの9時間にわたり(途中休憩あり)、わたくし後藤公平は生涯初めての水上スキーに挑戦しました。

当日は8時50分に米子食品団地横に集合し、船体に星のマークがあしらってある小林副会長・三嶋会員の田中会員所有の「アリゲーター」号に乗り込み、快晴の天候の下、田中会員の運転でべた風の中海に向けて出発しました。水上スキーを行う米子空港近辺の海域に着くまで、未知のスポーツが体験できるという感情の高ぶりとは裏腹に、自らの体調に対する一抹の不安がどうしても払拭できませんでした。

というも、前日にトリアスロン・マラソン部の打ち上げが盛大に行われていたからです。生ビールを5杯ほどいただいて、「さあ、明日に備えて飲むのはこーくらいにして、あとはお酌に回すだけにしてーだわい。」とおもったのが運の尽き。小林副会長が冷酒を飲んでおられたので、お酌をしようとしたところ、お猪口ではなく冷やっこが入っていたガラスのボウルを差し出されました。「がいにことお酒を飲みな方だなあ。」と思いつつ2/3程度お注ぎしたところ、「まあ、公平君、飲みやい。」とおっしゃいました(涙)。担当副会長のお酒が断られるはずありませんから、一気に飲み干しました(涙)。その後、2次会、3次会と宴は進んでいきましたが、意識が朦朧としていたために、ビルの陰とお友達になったことと帰ったら2時だったということしか覚えていませんでした。

お酒を飲んだ翌日は、必ずと言っていいほどおなかの調子が悪くなるので、「水上スキーをやった最中にしぼり腹になったらどげしょーかいな?まさか水中で…」と内心ビクビクしていたのですが、それも杞憂に終わりました。水上スキーが想像していたものよりはるかに面白かったためにおなかもおとなしくしていったからです。昼食(バーベキュー)を挟んで2回海に出て、計15本くらいチャレンジさせていただきました。水上スキーのコツは、1)自らの力で立ち上がるのではなくあくまでボートに引っ張り上げてもらう、2)立った後はうしろに重心をかけ過ぎずにバランスをとる、ことに大方集約されているといえるでしょう。午前で何とか立てるようになり、午後からは50メートルくらい水上をすべることができました。立てるまでは、ボラの死骸が浮く中海の水をしこたま飲み、「こげなまずい水を飲んで本当に生きて帰れるだあか?」と思っていましたが、いざすべることができるとなると今まで経験したことのないとても不思議な感覚に襲われました。スキューバ・ダイビングが「魚」になれば、ハング・ライダーが「鳥」になるとすると水上スキーは「トビウオ」になれた気がしました。(決して「アメンボ」ではありません)キラキラ光る海面を、風を感じながらすべるなんて爽快の一言に尽きます。

ただ、ライフ・ジャケットがきつかった(ひょっとしてデ○だから?)ことと、1本目にボートに引っ張ってもらった直後にロープが切れた(かなり○ブだから?)こと、ウエイク・ボードにチャレンジしたときボートと引っぱりあいになって心無しかボートが減速した(やっぱり○○だから?)ことが若干気掛かりですが、あくまで体重とは無関係の、不可抗力だったということをご報告いたします。



(広報/後藤公平)

聞いてごしない Part 13

実りの秋、食欲の秋...いい季節になって来ました。小生もウェットが少し増えきみである。やせなければいけないと思うが、なかなか思うようにはいかない。妻から言わせれば努力が足りないの一言で片付けられてしまう。やせたい、食べたい、飲みたい...毎日格闘の世界ではあるが、食欲には負けてしまう。ア~~~~。さて、雑談話は以上にして本題に入りたい。新入会員の第2回目のオリエンテーションが8月末に行われました。中央会とは?中央会に対する思いとは?等など色々な話が出ました。それなりに新入会員のみなさんは理解されたと思います。特にその中で、小生が言いたいのは「人の和」である。一人一人の顔が違いうように考え方も違います。それを理解し、分かり合えるのは会話をすることだろう。小生も新入会員の頃を思い出すと、今の新入会員と一緒にあった。右も左も分からない。会社に入った時はどうだっただろう。上司や先輩に何かと叱られたり、または、教えられたり色々な経験をしたことだろう。青年中央会もまったく会社と同じだ。面倒くさい、面白くない、でも自分が積極的に参加すれば道は開けるのではないかと、また時間の使い方もうまくなる。人を知る事は自分自信がその人の中に飛び込み、自分を鍛え、他人を知る事ではないか。新入会員の諸君、君たちは選ばれて青年中央会に入った面々だ。人を知り、多くの仲間を作ろうではないか!! 青年中央会の未来を君たち若い力が作り出すのだ~~~~!! 期待している。

(ハンサムボーイ 84Kgより)

連絡事項

祝開店 土井一朗会員(ビジネス委員会) こだわりラーメン「風林火山」 9/8 OPEN 米子市角盤町「海王」となり TEL 37-3770

ご家族揃ってどうぞ

10月例会案内

とき 平成11年10月21日(木) 18時30分~
ところ ホテルわこう
内容 (仮称)OBとの意見交換会
担当 役員

10月役員会報告

10月定例役員会が平成11年10月1日(金)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。
(1) 10、11月例会開催の件
(2) 青経連研修会実施について
(3) その他
※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

編集後記

「宇宙空間で紙飛行機はどのように飛ぶのか」という素朴な疑問も毛利衛さんがスペースシャトル内で実際にやってみるまでは学者でも答えを出せませんでした。9月例会の委員会タイムでの磯田会員のコンピューター2000年問題の話、「Y2K」もその日を迎えてみないとどうなるのかわからないところその怖さがあります。【備えあれば憂いなし】この諺の意味を再確認してみてもよいのではないのでしょうか。

9月報告

平成11年9月16日(木)米子国際ホテルに於いて9月例会が開催された。開会にあたり堀田会長より挨拶が行われ、続いて委員会タイムでは担当委員会である21地球委員会所属の磯田会員が、話題の「コンピューター2000年問題」について解説を行った。



磯田会員は「ライフラインを脅かす可能性もあるこの問題にもっと関心を持つべき」と訴え、「コンピューター2000年問題は現在の物社会に対する警告であり、心の社会へ移行しなければいけない」と話を結んだ。

続いて「容器包装リサイクル法による消費者・市町村・事業者の役割」という演題の下、米子市役所清掃課庶務係長、中田雄二氏にご講演をいただいた。講演の冒頭、ビデオが上映された。ビデオは全国で年間約5030トン(東京ドーム136杯分)にも及ぶゴミの内、約6割を占める容器包装廃棄物(ペットボトル、ガラスびんなど)の処理の実態を捉え、容器包装リサイクル法成立の背景を分かり易く解説した内容であった。ビデオ終了後に本格的に始まった講演の要旨は以下の通りである。

●ゴミ処理の現状と問題点

ゴミは年々増加の一途である。増え続ける理由としては、欧米化した生活様式の変化によるものが大きい。例えば肉なども昔はバラ売りされたものが、今はパック包装して販売されている。このパックだけでもゴミの増加の一因となっている。現状が続くとゴミの処分場がもたない。新たな処分場を作るには、経費面、処分場付近の住民感情など難しい問題を解決しなければならない。

ゴミ処理経費は現在米子市で、年間市民一人当たり12,300円の負担となっている。ゴミ処理の効率化のためにも、ゴミ全体の6割を占める容器包装類のリサイクル処理は推進しなければならない。

●容器包装リサイクル法の概要

平成9年4月よりスタートした容器包装リサイクル法は、容器包装廃棄物を資源として再生するため、消費者の分別排出、市町村の分別収集と保管、特定事業者のリサイクル義務と3者の役割を法律で規定した。消費者の具体的な役割は①市町村が指示するゴミを出す際の分別をゴミに対する理解を深めた上、より正確に行う②何度でも使えるものはゴミにせず使い切る③ゴミになるものはできるだけ購入しないようにする...などである。また、特定事業者とは、容器包装を利用、製造して販売する事業者(中小企業者は除く)のことで、商品再生の義務を負う。平成12年4月より改正され、中小企業も特定事業者としての義務が生じる。

●ゴミを出さない暮らしの工夫

一人一人が家庭のゴミを減らす努力をすることが重要である。ゴミを出さないためには3Rが大切である。①Reduce ゴミを減らす。(例、シャンプーは詰め替えて使用できるものを購入し、無駄なものを買わない)②Reuse 繰り返し使う。(例、牛乳パックで購入せずびんで買う。)③Recycle 再生利用する。(例、ゴミをきちんと分別する)

講演はこの他平成13年度より施行される「特定家庭用機器再商品化法」まで話が及んだ後終了した。終了後は質疑応答が行われ、最後に奥森担当副会長が「今日の話の機会に、私も本気になってリサイクルに取り組む」との決意を入れた謝辞で講演を締めくくり、9月例会は閉会となった。



平成11年度新入会員オリエンテーション開催

去る8月26日(木)、米子食品会館にて平成11年度、第1回新入会員オリエンテーションが開催された。岡本総務委員長による開会宣言、綱領唱和の後、堀田会長より「今回は、一度オリエンテーションに参加している人もあえて参加していただいた。自分を含め役員も襟を正して一緒に勉強したい。また、真に中央会を理解していただき、中央会会員であることの意義を学んでほしい。」との挨拶のあと全員の自己紹介を行ない講義へと移った。講義ではまず、堀田会長より今年度の事業計画の説明、次に足立支所長代理から親会である中小企業団体中央会の説明があった。そして20周年ビデオを使い西部青年中央会のあゆみと組織について河端監事より説明があった。長谷川監事は自分の体験を含み新入会員としての心構え、最後に各副会長から助言があり、20時50分、閉会となった。今回、新入会員オリエンテーションに参加し、堀田会長の「心を雑(つなぐ)でいきたい」との意志が会長をはじめ役員の方々から溢れ出ているように感じ、頬が紅潮するほどの感銘を受けた。これから中央会の活動に参加していくにあたり諸先輩から教えていただいた「もっと出会い」「もっと楽しみ」「もっと学び」これを無になって始めてみようと思つた。それをくり返すことによって中央会会員であることの意義を自分自身で見出せるようになると思うからだ。そしてそれを仕事や生活に活かしていけるかが自己成長につながると思つている。「自己成長しつづける」それは私の志のひとつでもある。「志」を胸に中央会活動をいう新たな一歩を踏み出して行く。(広報/桶村清子)



青少年海外研修視察報告

昨年は志田会員が「米子市青少年研修制度」の研修生としてアメリカへ渡りましたが、今年は野川会員が同制度の研修生として、8月16日から26日までの11日間の日程で同じアメリカを訪問しました。以下野川会員の研修報告文を掲載致します。

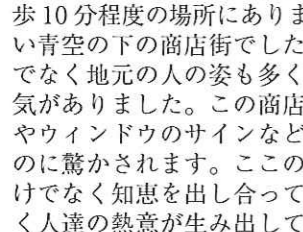
私の今回の研修テーマは「米子市における中心地活性化の可能性についての考査」でした。そのために米子市の中心地活性化のヒントを求めて、アメリカの各地を視察しました。

「チャタヌーガ」 2日間滞在

この街は事前の調査の情報とはまったく当てが外れた街でした。コココーラがこの街で生まれ、本社が在ると言うくらい、後は目立った収穫が得られませんでした。

「ボルティモア」 5日間滞在

海に面した街ボルティモア。ここは1960年代から計画的に行われた再開発が成功した素敵な街です。古い建物と古さを演出して新築した建物が調和した町並は、見事に歴史を感じさせてくれます。再開発は立地を生かし港を中心に進められていました。港回りには観光客が溢れ、広くゆったりした煉瓦道や歩道の横の芝生が人々の憩いの場となっています。付近にはミュージアムやレストランやショッピングモールなどが、景観を考え秩序よく並んでいました。地元商店街はこの場所から徒歩10分程度の場所にありました。屋根もない青空の下の商店街でしたが、観光客だけでなく地元の人々の姿も多く、素晴らしい活気がありました。この商店街を歩くと看板やウィンドウのサインなどが手作りのように驚かされます。この活気は、お金だけでなく知恵を出し合っている店主や働く人達の熱意が生み出しているように感じました。また、この商店街の突き当たりにはレキシントンマーケットという買った食べ物を自由に食べられる生鮮市場があります。最後に港のあるトップオブザワールドビルの展望台に上りボルティモアの町を一望しました。



だが、都会と古い町が融合している独特の町並みと、ヨットやモーターボートが泊めてある港が、私のテーマに多くのヒントを与えてくれました。

「ホワイトプレーンズ」 4日間滞在

最後の訪問地です。ここは60年から70年代に中心地が空洞化し、官民協力の下、開発に成功した町です。この街の特色は市の人口5万人に対して昼間人口が25万人になるという事と、小売業の売り上げが、ニューヨーク州の5本の指に入るといふ事です。再開発は、最初に市が中心地を300エーカーを買い取り、古い建物をすべて壊した後、きちんと区画した町を作りショッピングモールを誘致するなどの手順が進められました。また、市が購入した土地は、再開発した事で全米でも有力な小売店舗などの出店希望が続き、それらが付加価値となり高く売れたという事です。市の再開発の担当者とは面談しましたが、彼らは開発のプロとして、退職までの間ずっと再開発の担当として働くと言ふ事です。彼らを抱える市は、町の調和を保つため、店舗の設計まで口を挟んでいるようでした。



研修中には様々な出来事を通し、貴重な経験をさせて頂きましたが、何よりも驚いたことがあります。それはアメリカの商業人の選挙に対する関心の高さです。市長や行政の仕事に常に意識し、冷静に見て評価する文化ができてきているのです。現在の日本が置かれている厳しい状況は、我々有権者の選挙に対する甘さに起因しているのではないかと意識することができたことが、今回の研修の最大の成果だったように思います。(政治行政/野川誠司)

9月度委員会報告

マネージメント委員会
平成11年9月8日(水) 於:米子食品会館 出席者/12名
内容/ ビジネス委員会と合同委員会

・米子信用金庫 常務理事 寺澤一則先生
「最近の経済状況と金融業界について」
その後講師先生と共に二次会を行った

ビジネス交流委員会
平成11年9月8日(水) 於:米子食品会館 出席者/9名
内容/ 今回は、マネージメント委員会との合同委員会として米子信用金庫常務理事寺澤一則OBを講師に迎え、山陰の地域経済動向と金融機関の現状について語っていただいた。

金融機関のおかれている立場、顧客に対するスタンスなど具体的な題材をもとにした講義であり、会員からの質問も熱がこもった有意義なものであった。
その後、場所を移し二次会にて親交を深めた。

政治行政委員会
平成11年9月13日(月) 於:ビッグシップ 出席者/13名
内容/ 当会のOBでもあり米子市議会議員でもある、中村昌哲氏を講師に迎え、米子市議会の様子、米子市が抱える諸問題等、市の方向性、中村氏の考え方について聞き、我々は何をどうすべきか、どう考えるのか色々と参考になる内容であった。

げんこつ委員会
平成11年9月7日(火) 於:DAY LOUNGE夢 出席者/10名
内容/ 10月以降の委員会運営について
・仮称「親父・社長・上司の威厳復活打聞策」
1年間勉強して何らかの「提言」を行う。
時間の許せる委員により、委員会について討議を行った。
何と、終了時刻はシンデレラボーイであった。

地域ビジョン委員会
平成11年9月7日(火) 於:ホームサムインかいけ 出席者/12名
内容/ 副会長挨拶、委員長挨拶、役員会報告の後、会員タイム

として、足立徹会員、市位清明会員によって、自己、自社の紹介が行われた。

講師にはコンサルティングプランナーの釜江聖女氏を迎え「女性の立場からみたこの地域」という演題で話された。今までの商業企画の成功例の紹介や、高校の生活指導の現状など話された。

21 地球委員会
平成11年9月3日(金) 於:大連 出席者/10名
内容/ 役員会報告の後、9月担当例会の最終的な打合わせを行った。講師確認と当日の役割分担、タイムスケジュール等、細部にわたり確認を行い9月例会の成功を願って散会した。

2020 グランドデザイン委員会
平成11年9月3日(金) 於:東亜青果(株)会議室 出席者/6名
内容/ 委員会においては、前半は自己の性格判断をエコグラフを用いて行った。自分の性格を客観的に判断する機会というのはあまりなく、なるほどと思う所とこんな所もあったのかと思う所など複雑な思いであった。後半は、「人生設計の立て方」を具体例を示して行ない、各自の感想を述べた。

広報委員会
平成11年9月3日(火) 於:米子食品会館 出席者/14名
内容/ ・ハンサム10月号の編集・打ち合せ
・インターネットメンテナンスの件
・富士山会員より、概略の発表、今後のやり方の検討

総務委員会
平成11年9月7日(火) 於:ホームサムイン皆生 出席者/11名
内容/ ・25周年記念ゴルフコンペ開催の件
OB会員への参加要請
ゴルフ同好会への援助依頼

・中央会パンフレット作成の件
担当:宇野、若槻
その後場所を移して懇親会を行った。

(広報委員会よりお知らせ) ホームページ更新します!

中央会ホームページはすでに多くの方に見ていただいております。いままでのところ約4千名弱の閲覧を数えています。会員はもちろんのこと、会員以外の方にも、自由に閲覧できるのがホームページの良いところです。広報委員会では、現在ホームページの更新作業をすすめています。この欄では将来構想なども折り込みながら、中央会インターネットホームページのこれからについてお話しします。

ご存知のようにインターネットは世界中に張り巡らされたネットワークです。さまざまな情報が行き交っています。「どこかにこんなものはないだろうか」「こんなものがあります」「商売のネタがないだろうか」「こんな商売しています」そんな話が、インターネットのあちこちで毎日展開されています。自社のホームページを開設されている企業には、インターネットを通じてそれこそ全国から、求人や商品の紹介、見積りの問い合わせなどが、程度の差はありますが少なからず入ってきます。また、双方向のコミュニケーション手段でもありますので、やり方によっては面白い使い方ができるメディアだろうと思います。中央会のホームページは現在、会の歴史や活動、会員の紹介等を行なっております。全国に開かれた窓の役割です。ここにもう少しだけ手を加えることによって、会員以外の方の中央会への理解を深めたり、イメージ向上が図れたり、あるいはビジネスにつながる話も出てくるかもしれません。もちろん、会員相互のコミュニケーション手段のひとつにもなるでしょうし、商売の話も期待できます。そのためには、ページ増設やデザイン・レイアウトも検討しなければなりません。インターネットの特徴を生かし、次のような要素を大切にしたいと考えています。

- (1) 情報発信の手段となっていること
- (2) 交流の場があること
- (3) イメージアップにつながること

広報委員会が進めている更新作業は、これらを一気に実現させるものではありませんが、前向きに取り組んでいきたいと考えています。ビジネス交流委員会で企画された「Hanjyo」のような良い企画が、インターネットの上でも展開できればと思います。

みなさまにより良く活用していただけるよう、これからも研究を続けていきます。みなさまのご意見をお待ちいたしております。

E-mail tsc@sanmedia.or.jp

また、会員紹介ページに、まだ登録されていない方も、進んで登録をお願いします。

米子水鳥公園清掃美化ボランティア活動へ参加

平成11年9月19日(日)、米子水鳥公園において第2回米子水鳥公園清掃美化活動が行われた。好天にも恵まれ、約500名もの参加者があり、市民の地域環境美化に対する意識の高さを物語っていた。当会からは堀田会長、萬田委員長、佐々木、岩崎、向井の各会員が21地球委員会の委員会行事として参加した。当日の作業は小千鳥(コチドリ)の産卵の場所となる砂礫地復元のための草刈りがメインで、午前9時30分から作業は開始、雑草は思いのほか深く、広く根を張っており皆一様に悪戦苦闘していたが、除々にコツをつかみ、10時30分の終了時間の頃には刈りとった雑草が山となった。残暑厳しい中での作業のため汗ダクでしたが、ひとつのことをやり遂げた達成感で「カールのおじさん」の集団にしかみえない6人は大満足であった。

